

令和2年度までの研究の概要

1 研究主題と目指す子供像



研究主題

生き生きと学び，コミュニケーション能力の基礎を養う小学校英語の授業の創造

「生き生きと学ぶ」姿とは…

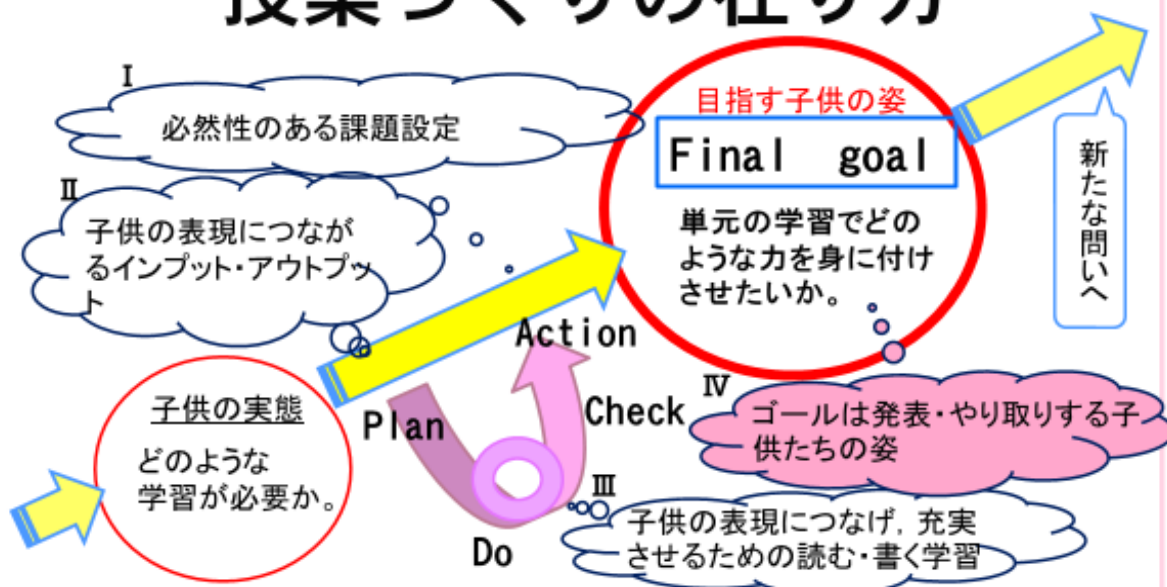
聞く・読む・話す・書くなどの活動を通して，英語の音声や文字，語彙，表現，文構造，言語の働きなどについて，主体的に学ぼうとする姿のこと。

「コミュニケーション能力の基礎を養う」とは…

聞く・読む・話す・書くなどの活動を通して，身に付けた技能を基に，相手(他者)に配慮し，目的意識をもちながら，主体的に英語を用いて自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の基礎を養うこと。

1 研究主題と目指す子供像

授業づくりの在り方



教児共に見通しをもつこと

具体的な実践 1

☞ CAN-DOリストを踏まえた授業づくり

薩摩川内市立平佐西小学校 英語 CAN-DOリスト(領域別) ※一部抜粋

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
話す(と)やら取り			○好きなスポーツや自分の家族について、簡単な語句や基本的な表現、例文を用いて1～2文程度で話すことができる。 ・ ・ ・	○好きな遊びや曜日等について、簡単な語句や基本的な表現、例文を用いて3文程度のスピーチやスキットができる。 ・ ・ ・	○好きな時間割やほしい物等について、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現、例文を生かして3文程度のスピーチやスキットができる。 ・ ・	○自分の夢や思い出、行きたい国等について、伝えようとする内容を整理した上で、簡単な語句や基本的な表現、例文を生かして3文以上のスピーチやスキットができる。 ・ ・

具体的な実践 2



☞ 共通実践

3つのC を意識した授業

Challenge (挑戦) 失敗を恐れず前向きに

Confidence (自信) 自信をもって

Communication strategy
(コミュニケーション・ストラテジー)

コミュニケーションを続けるための

☆ コミュニケーションストラテジー(CS)とは ☆

CS	機能	活用する場面	予想されるストラテジー
CS1	聞き返し	相手の言う内容が聞き取れなくて、「もう一度言ってほしい。」と頼む場合。	○ Pardon? ○ 分からないといったジェスチャーを示し、指で1を出す。
CS2	質問	英語での言い方が分からなくて尋ねる場合。	○ In English, please. ○ What's this? ○ Excuse me.
CS3	確認	相手に自分の言った内容が理解してもらえたかを確認する場合。	○ Do you understand? ○ Are you OK?
CS4	繰り返し	相手が間違った解釈をしていたり、分かりにくいと思っていたりしたときに、自分の言ったことを繰り返す場合。	○ “I want to go to the station.”と言っても、相手が首をかしげたり、分からないような仕草をしたりした場合に、“I want to go to the station.”と繰り返す。

意識づけるための手立て

はんのう しめ
☆ 反応を示そう(CS)~会話をつなげよう~ ☆
 2学期に意識して使ってみよう!

ほめるとき

- ・ Nice.
- ・ Good.
- ・ Good job.
- ・ Great!
- ・ Wonderful!
- ・ Perfect!!!

授業の中で

- ・ Let me try.
- ・ I know.
- ・ Excuse me.
- ・ How do you say ~ in English?

おどろき・ぞもん

- ・ Oh! _____?
- ・ Oh! really?
- ・ Pardon?
- ・ Excuse me?
- ・ Me too.
- ・ I don't know.

★ 同じ言葉や単語を繰り返すだけでも会話になるよ!
 ★ 相手の言葉に耳をかたむけて、何かしら反応を示そう!
 ★ 知っている英語で会話をつなげてみよう!



CSについて

各学年で身に付けさせたいCSを以下の1~6に設定した。

1 授業者が特に意識して取り入れてほしいCS (内容)

CS	機能	1年	2年	3年	4年	5年	6年
CS1	聞き返し	○	○	○	○	○	○
CS2	質問	○	○	○	○	○	○
CS3	確認	○	○	○	○	○	○
CS6	ワードスウィッチング	○	○	○	○	○	○
CS7	非言語的手段	○	○	○	○	○	○
CS8	指づら	○	○	○	○	○	○

※ 授業の中で特に意識して取り込み、定着させてほしい内容を太線で囲んでいます。
 ○ 積極的に活用を促してほしいCS (内容)
 ○ 子供の実態に応じて活用を促してほしいCS (内容)

2 授業者が意識して取り入れてほしいCS (内容)

CS	機能	1年	2年	3年	4年	5年	6年
CS4	繰り返し	○	○	○	○	○	○
CS6	ペアフレーズ	○	○	○	○	○	○
CS9	評語活用	△	△	△	△	○	○
CS10	加算	△	△	○	○	○	○

△ 積極的に活用を促してほしいCS (内容)
 ○ 子供の実態に応じて部分的に活用を促してほしいCS (内容)